事務事業評価シート(事	『後評価)
-------------	-------

事物	多事業評価	シート(事後評別	<u>四)</u>						
	業コード 事務事業名 7-3-1 環境情報の提供及び環境学習				所管部課 の推進 生活環境部 環境保全課					
	施策名									
	環2-1 環境意識の高揚				環境を大切にするしくみづくりや環境学習の推進を通して、市民・事業者及び行政の 環境意識の高揚をめざします。					
	事務事業の目的							根拠法令等		
									☑法律	
事	市民の環境意識の向上と連携づくりを行う。								☑ 条例·規則 □ 政令·省令 ☑ 要綱·要領	
務事業	基準の有無	事業内容·実施方法等 / 補助の概要:補助団体の概要(団体名·団体の活動内容·補助金の活用内容等)、補助金の概要(国·都 基準の有無·対象者拡大の有無·上乗せ補助額·市単独補助額)等 該当する予算事業名·節目を明記する								
	館からほぼ毎イベントを実施 マ環境学習材(環境カルク 力してもらった	<環境学習の機会や環境情報の提供> 環境に関する講座・講習会、見学会をNPO、事業者と協力して講師を招いてエコプラザ西東京の開館からほぼ毎月1回、計10回開催した。6月の環境月間には、エコプラザ西東京の開館記念事業とともに6日間環境フェスティバルを開催し11のイベントを実施した。また、1月には冬のエコライフスペシャルとして、地球温暖化防止の啓発イベントを実施した。 <環境学習・活動の支援・普及> 市民の環境学習や活動の支援・普及のため、エコプラザ西東京協力員(22名の有志)と協働で、環境学習教材(環境カルタ、環境ケイズ、環境すごろく、環境紙芝居の4種)を作成した。また、エコプラザ西東京協力員には、上記環境講座の補助等でも協力してもらった。								
	【04-01-04-0 13-02地球温				環境字習	事業等講帥謝金、08	-02協力員謝金、13-0)1環境フェスティバル等	運営支援委託料、	
	事業開始		平成20		実施形	態 ☑ 直営[□委託 □補助 □] その他()	
		項	目		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	
	事業費(A)							5,067	7,189	
	ы 国庫支出	金·都支	出金							
	_り 源 地方債				千円					
事	内その他	()						
事業費	訳 一般財源	 [0	0	5,067	7,189	
デ	所要人員(B))			人			2.37	2.78	
	人件費(C)= ⁵		× (B)		千円	0	0	19,351	22,699	
タ	臨時職員等:	賃金(C')			千円					
	総コスト(D)=	(A)+(C)+(C')		千円	0	0	24,418	29,888	
	単位当たりコスト									
	(E)=(D)/	(講座回数(年	F間講座 + 環境	月間イベント))	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	904	#DIV/0!	
		活動等	指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	
	環境月間·	イベント数		実績値				11		
	年間講座			実績値	回			16		
(指標の説明・数値変化の理由 など) 評 年間講座開催数は、地球温暖化防止啓発事業「冬のエコライフスペシャル」での事業計6(展示と体験ブース、映像 価 環境発表会、環境漫才、環境講演会、交流会)を含む。						映像上映、小学生				
指		成果	指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	
標の		画·作文/	文首 粉	目標値	個	1,000	1,000	1,000	1,000	
設定	次 ^{環境凶}	画·TF又)	心券奴	実績値	個	817	796	1,094		
定		展来場都	字数	目標値	人		1,000	1,000	1,000	
	次 4.7			実績値	人		674	620		
(指標の説明・数値変化の理由 など) (二次)環境展来場者数が19年度から20年度で減少した理由の一つに会場の知名度があると考え ターコート、平成20年度はエコプラザ西東京で実施)。							3と考えられる(平成19	9年度はアスタセン		
事	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)			各講座後のアンケートでは、「環境講座をもっと開催してほしい」「また参加したい」という感想が多く、参加者の環境意識の啓発に、講座等は一定の効果を発揮している。						
事業環境等	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)			☑ 上□ 中□ 市□ 下□ 下□ 下						
	代替・類似サービスの有無				☑ 有	教育部公民館による環境講座				

事業コード 7-3-1	事務事業名 環境情報の提供及び環境学習の推進	所管部課 生活環境部 環境保全課
施策コード	施策名	施策目標
環2-1	環境意識の高揚	環境を大切にするし〈みづ〈りや環境学習の推進を通して、市民・事業者及び 行政の環境意識の高揚をめざします。

【一次評価】

	検証項目	ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
	事業の優先 度(緊急性)	2	事業の優先 度(緊急性) 市民ニーズ 事業の の把握 事業主体 □ 改善・見直し 境問題について、全市 よる自主的な環境学習 あり、市民の間で地球)。 環境問題に自分たちて 意識が高まっている社 業の優先度・必要性 類似の講座を市民団 後はこうした団体との連	5 111 1 15-11	事業の優先 度(緊急性) 「拡充 境問題について よる自主的な環	本事業は、市民が一丸となって取り組むべき環境問題について、全市民を対象に、情報提供等による自主的な環境学習の支援や啓発を行うもので
Α	事業の 必要性	2		あり、市民の間で地球温暖化問題をはじめとする 環境問題に自分たちで取り組んでいきたいという 意識が高まっている社会的状況を踏まえると、事 業の優先度・必要性は高いと考える。		
	事業主体 の妥当性	2		類似の講座を市民団体が開催しているため、今後はこうした団体との連携を検討していくことが必要とされるが、市民間の連携のためにネットワーク		
	直接のサービ スの相手方	3	事業内容等 直接のサービ の適切さ スの相手方	□抜本的見直し	づくりは市が中心となって行うのが妥当である。 講座やイベントの企画や実施にあたっては、すで に組織している市民団体やエコプラザ西東京協力	
В	事業内容等 の適切さ	2		□休止	員、環境保全活動等推進員などの意見を参考にしながら行っており、市民の関心の高い事項について優先的に講座等を実施するなど、市民ニーズに合致した適切な事業内容となるよう工夫している。	
	受益者負担 の適切さ	1	検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目	□廃止	今後は参加者アンケートの意見を反映し、また、 啓発イベントだけでなく、様々なアプローチで、これまで環境に関心のなかった人も巻き込むような	
С	市民ニーズの把握	2	B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目		事業展開が必要である。	

【二次評価】

	検証項目	ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等		
	事業の優先 度(緊急性)	2	事業の優先 度(緊急性)	9 711 1 1047 9	5 THE	□拡充	環境学習については、講座、講習会、見学会等のイベントを開催し、他市と比較してもその数は多い方に位置している。また、エコプラ
Α	事業の 必要性	2	市民ニーズ の把握 り 単業の 必要性	☑ 継続実施	ザ西東京協力員との協働で作成した環境学 習教材については、21年度に出前講座等で		
	事業主体 の妥当性	2	受益者負担 の適切さ の妥当性	□改善·見直し	活用されることになっており、新たな展開が期待できる。 一方、エコプラザ西東京内にもパネル展示、		
	直接のサービ スの相手方	3	事業内容等 直接のサービス の適切さ の相手方	□抜本的見直し	参考図書、パンフレット等が常設され、市民の 啓発に努めていることが伺える。 学校教育との連携では、小学4年生向けの		
В	事業内容等 の適切さ	2		□休止	副読本を学校の協力を得て改訂作業を進め ている。		
	受益者負担 の適切さ	1	検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目	□廃止	今後は講座等の参加者や、エコプラザ西東 京への来訪者からの意見聴取を踏まえるとと もに、類似事業を実施している公民館などの		
С	市民ニーズ の把握	2	B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目		関係部署との連携を図りながら事業を展開していく必要がある。		

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
□拡充	社会的に環境問題が重要視されるなか、講座・講習会や教材の作成などにより、市民の環境問題への意識を 高め、自主的な環境問題への取り組みを促す本事業の重要性は高いと判断する。
☑ 継続実施	今後は、事業への協力者や参加者の意見を踏まえ、関係部署・関係機関とも今まで以上に連携を図りながら、
□改善·見直し	より多くの人に環境問題に関心をもってもらえるよう、事業の充実に取り組まれたい。
□抜本的見直し	
□休止	
□廃止	